

児童朝会 校長の話 12月18日

先週の土曜日、5年生のビーチボール大会がありました。台東区内19校の選手が集まって戦いました。出場した選手の皆さん、前に出てきてください。7月から練習を重ねてきました。当日は接戦の中で負けて悔しい思いもしましたし、点数を重ねて勝利の喜びも味わいました。女子チームは1勝、男子チームは2勝しました。素晴らしかったのは、どんな窮地になっても最後まで諦めずに戦い抜いたこと。そして勝つ、1点取るという一つの目標に向かってみんなで力を合わせてパスをつなぎ、カバーし合い、素晴らしいチームワークで戦ったことです。ビーチボールで学んだことを浅草小学校の5年生として学校生活のリーダーとして生かして欲しいと思います。選手に大きな拍手を送りましょう。

さて、11月に150周年の式典がありました。彬子女王殿下がお成りになり、全校の皆さんは式典後のアトラクションを聞いていただきましたね。式典には5・6年生が参列しましたが、その中で彬子女王殿下がお言葉を述べられました。とても素晴らしい内容だったので、学校に残しておくために書いた文章をお願いしていただきました。彬子様の署名が入っています。その文章の中の一部を紹介しますね。

彬子女王殿下のお言葉

日本の未来を
担っていく子供たちが、
日本の文化を身近に感じ、
生活の中で生かしてくれれば、
日本文化は、
未来に残っていきません。

「日本の未来を担っていく子供たちが、日本の文化を身近に感じ、生活の中で生かしてくれなければ、日本の文化は未来に残っていきません。」

～日本の文化を身近に感じ、生活の中で生かしていく～というところで、皆さんの学校生活の中にも日本文化は身近にあります。

日本の文化を
みぢかに感じ、
生活の中で
生かす

これは江戸時代の絵ですが、子供は何をしていますか？

「書き初め」です。今各学年で練習に取り組んでいることでしょう。1・2年生は鉛筆で、3年生以上は筆で字を書きますね。



新しい年を迎えて、その年の頑張りたいことやおめでたい言

葉を筆で書きます。この書き初めの起源は今から1000年以上昔の平安時代、宮中で年の初めに「吉書の奏」といって天皇に文書を書いて申し上げていたそうです。それが江戸時代



になると町の人たちに広がり、大人も子供も書き初めを書くようになりました。元旦の早朝に新しい水を汲んで、墨をすり、1年の抱負や元旦の思いを文書や詩歌にして書いたそうです。それが、今でも皆さんが取

り組んでいる「書き初め」です。一生懸命練習して心を込めてよい字を書いてください。冬休み中に、新しい年を迎えたら、書き初めを書いて、そして学校に持ってきてくださいね。